シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保健Ⅰ		
必修選択	必修	（学則表記）	保健Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	保健Ⅰ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。		
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。		
評価基準	テスト：50%　小テスト：30%　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	保健Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	藤井 智子	実務経験	○
実務内容	1986年～看護師として病院で勤務。2002年からは整形外科での勤務経験も有。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1項　人体各部の名称
2	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	2項　頭部、顔部、頸部の体表解剖学
3	第2章/骨格器系	1項　骨の種類と構造 2項　骨の連結
4	第2章/骨格器系	3項　骨格器系とそのはたらき
5	第3章/筋系	1項　筋の種類とその特徴 2項　主な骨格筋とそのはたらき
6	第3章/筋系	3項　表情筋と表情運動
7	まとめ	まとめを行う
8	解説	振り返り・解説
9	第4章/神経系	1項　神経系の成り立ち
10	第4章/神経系	2項　中枢神経とそのはたらき 3項　末梢神経とそのはたらき
11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚
12	第5章/感覚器系	4項 味覚 / 5項 嗅覚 / 6項 皮膚感覚
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	第6章/血液と免疫系	1項　血液のあらまし
17	第6章/血液と免疫系	2項　免疫のあらまし　3項　アレルギー
18	第7章/循環器系	1項　心臓のあらまし　2項　血液循環のしくみ
19	第7章/循環器系	3項　血液の循環経路
20	第7章/循環器系	4項　リンパ管系の仕組みとはたらき
21	第6章・第7章振り返り	6章、7章の振り返り、要点解説
22	まとめ	まとめを行う
23	解説	振り返り・解説
24	第8章/呼吸器系	1項　呼吸器系のあらまし　2項　気道
25	第8章/呼吸器系	3項　肺の仕組みとガス交換　4項　呼吸運動
26	第9章/消化器系	1項　消化器系のあらまし　　2項　消化管の仕組み
27	第9章/消化器系	3項　消化管のはたらき　4項　消化管と物質代謝
28	まとめ	まとめを行う
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	文化論Ⅰ		
必修選択	必修	（学則表記）	文化論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファション文化史の流れを習得する。
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。
評価基準	テスト：50%　課題提出：30%　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	木村 理恵	実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章　総論　　第1節　総論	・教科、授業進行の説明 ・美容師に求められるものについて ・用具の説明
2	第4章ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシア・ローマ・ゲルマン	古代エジプト・ギリシア・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について
3	第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について
4	第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世（16世紀） 第6節近世(17世紀)	16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について
5	第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世（18世紀）	18世紀の髪型・化粧・服装について
6	第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代(18世紀末～19世紀初め) 第9節近代（19世紀）	18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について
7	第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代（1910～1920年代） 第11節現代（1930～1940年代前半）	1910～1940の髪型・化粧・服装について
8	テスト アクティブラーニング	テスト、アクティブラーニング
9	第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代（1940後半～1950年代）	1940～1950の髪型・化粧・服装について
10	第4章ファッション文化史西洋編 第13節現代（1960年代）	1960の髪型・化粧・服装について
11	第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代（1970年代）	1970の髪型・化粧・服装について
12	第5章　礼装の種類 第1節　和装の礼装 第2節　洋装の礼装	礼装について
13	第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代（1980年代） 第16節現代（1990～2010年代）	1980～2010の髪型・化粧・服装について
14	総まとめ	総まとめを行う
15	テストと解説	テストと解説を行う

16	第2章　日本の美容業の歴史 第1節～第2節	第1節理容業･美容業の発生第2節江戸時代の理容業･美容業
17	第2章　日本の美容業の歴史 第3節～第4節	第3節近代の理容業･美容業第4節現代の理容業･美容業
18	第3章ファッション文化史日本編 第1節　縄文･弥生･古墳	縄文･弥生･古墳時代の髪型･化粧･服装について
19	第3章ファッション文化史日本編 第2節　古代(飛鳥･奈良･平安時代)	古代の髪型･化粧･服装について
20	テスト 第3章ファッション文化史日本編 第3節　　第4節	テストと解説、中世･近世Ｉの髪型･化粧･服装について
21	第3章ファッション文化史日本編 第5節　近世(江戸時代)	江戸時代の女性の髪型、化粧について
22	第3章ファッション文化史日本編 第5節　近世(江戸時代)	江戸時代の男性の髪型、服装について
23	第3章ファッション文化史日本編 第6節　近代(明治)	明治の髪型･服装･化粧について
24	第3章ファッション文化史日本編 第7節　近代(大正)	大正、昭和(戦前)の髪型･服装･化粧について
25	テスト 第3章ファッション文化史日本編 第8節　近代(昭和20年)	テストと解説、明治、大正、昭和(戦前)の復習
26	第3章ファッション文化史日本編 第9節　現代(1945～1950年代)	昭和(戦後)の髪型･服装･化粧について
27	第3章ファッション文化史日本編 第10節　現代(1960～1970年代)	1960年代の髪型･化粧･服装について
28	第3章ファッション文化史日本編 第10節　現代(1960～1970年代)	1970年代の髪型･化粧･服装について
29	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第11節　第12節	1980～2000年代の髪型･化粧･服装について
30	テスト、総まとめ	テスト、総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅰ		
必修選択	必修	（学則表記）	美容技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅰ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	美容技術理論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	垣内 麻美	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション ＜序章　美容技術理論を学ぶにあたって＞	※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢　・力の配分と姿勢　・人体各部の名称　・美容における頭部の区分
2	＜第1章　美容用具＞ 1. 美容技術における用具 2. コーム 3. ブラシ　4. シザース	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザースの種類、各部の名称、選定法と手入れ法
3	＜第1章　美容用具＞ 5. レザー 6. ピン類、ヘアクリップ 7. ロッド　8. ローラー	・いろいろな太さのローラー　・ホットカーラー（ローラー） ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法 ・ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類
4	＜第1章　美容用具＞ 9. ヘアアイロン　10. ヘアドライヤー 11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機	・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法 ・ヘアドライヤーの種類と構造　・タービネートタイプドライヤーの構造 ・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機の役割
5	＜第2章　シャンプーイング＞ 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー　3. バックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き
6	＜第2章　シャンプーイング＞ 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス，コンディショナー，トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	＜第2章　シャンプーイング＞ 5. スキャルプトリートメント 6. ヘッドスパ	・スキャルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスキャルプトリートメント技術の一例 ・スキャルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクセーションマッサージ
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：序章～第2章】
9	＜第5章　パーマネントウェービング＞ 1. パーマネントウェーブの歴史と現在 2. パーマネントウェーブの理論 3. パーマ剤の分類	・パーマネントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類
10	＜第5章　パーマネントウェービング＞ 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマネントウェーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項　～　毛髪診断
11	＜第5章　パーマネントウェービング＞ 5. パーマネントウェーブ技術 6. 縮毛矯正（高温整髪用アイロン使用）	・パーマネントウェーブ技術　シャンプー　～　縮毛矯正（高温整髪用アイロン使用）
12	＜第3章　ヘアデザイン＞ 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素
13	＜第3章　ヘアデザイン＞ 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第5章・第3章】
15	総合授業	総まとめを行う

16	＜第4章　ヘアカッティング＞ 1. ヘアカッティングとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカッティングの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
17	＜第4章　ヘアカッティング＞ 5. ブロッキング 6. ヘアカッティングの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類 ・パネルと頭皮の角度 ・毛先が集まる位置とカットラインの関係 ・パネルの幅や長さとカットラインの関係 ・パネルの角度とシルエットの関係 ・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイムレングスカット
18	＜第4章　ヘアカッティング＞ 8.. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章】
20	＜第6章　ヘアセッティング＞ 1. ヘアセッティングとは 2. ヘアパーティング　3. ヘアシェーピング	・オリジナルセットの基本的な要　～　ストランドシェープ、フィンガーウェーブ時の持ち方
21	＜第6章　ヘアセッティング＞ 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要　～　ストランドシェープ、フィンガーウェーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類　～　クロッキノールカール技術の一例
22	＜第6章　ヘアセッティング＞ 5. ヘアウエービング 6. ローラーカーリング	・ヘアウェーブの名称、分類　～　ローラーウェーブ ・ベースの幅と厚さ
23	＜第6章　ヘアセッティング＞ 7. ブロードライ 8. アイロンセッティング	・ハンドドライヤーとブラシの基本操作 ・アイロンの持ち方
24	9. バックコーミング 10. アップスタイル 11. ウイッグとヘアピース	・バックコーミング・アップスタイル ・ウィッグ、ヘアピース手入れ法
25	＜第7章　ヘアカラーリング＞ 1. ヘアーカラーリング概要 2. ヘアカラーの種類 3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーリングの歴史、種類　～　タイプ別染毛メカニズム
26	＜第7章　ヘアカラーリング＞ 4. 染毛のメカニズム　5. 色の基本 6. 毛髪のレベルとアンダートーン	・ヘアカラーの色選び～アンダートーン
27	＜第7章　ヘアカラーリング＞ 7. パッチテスト　8. 染毛剤使用時の注意 9. ヘアカラーリングの道具 10. 酸化染毛剤の技術手順 11. 酸性染毛剤料の技術手順	・染毛剤と皮膚炎・ヘアカラーリング専用の施術道具 ・パッチテスト・酸性染毛剤料の技術手順
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章・第6章、第7章】
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅰ		
必修選択	必修	（学則表記）	衛生管理Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	衛生管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、業務を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：50%　小テスト：30%　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石風呂 瞳	実務経験	○
実務内容	2007年に看護師・保健師国家資格を取得し、小児科・内科・整形外科・往診ナース・訪問看護・訪問入浴・イベントナースと多岐にわたり勤務している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編　公衆衛生 1章公衆衛生の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編　公衆衛生 2章保健	「母子保健」
3	第1編　公衆衛生 2章保健	「成人・高齢者」
4	第1編　公衆衛生 2章保健	「成人・高齢者」
5	第1編　公衆衛生 2章　保健	「成人・高齢者」「精神保健」
6	第1編　公衆衛生 2章　保健	まとめ
7	第2編　環境衛生 1章環境衛生	1節　環境衛生の概要
8	第2編　環境衛生 2節　空気環境	空気と健康 温熱環境と健康
9	第2編　環境衛生 3節　衣装・住居の衛生	衣服の衛生
10	第2編　環境衛生 3節　衣装・住居の衛生	住居の衛生
11	第2編　環境衛生 4節上・下水道と廃棄物	上水道、下水道、廃棄物
12	第2編　環境衛生 5節衛生害虫とネズミ 6節環境保全	衛生害虫とネズミ 水質汚濁
13	まとめ	まとめ
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめ

16	第3編　感染症 1章感染症の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
17	第3編　感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
18	第3編　感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
19	第3編　感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
20	第3編　感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
21	第3編　感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種
22	第3編　感染症 1章感染症の総論③	予防のための3原則 まとめを実施する
23	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
24	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
25	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
26	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
27	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
28	まとめ	まとめ
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-A		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅰ-A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する。		
到達目標	美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	総まとめ40%　まとめ30%　提出物20%　授業態度10%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-E		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	宮地 美由希　他1名	実務経験	○
実務内容	広島の美容室にて9年間美容師として勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）、机上セッティング、ウイッグの取り扱い、コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、姿勢、体の使い方、構成習得、国家試験衛生
2	ワインディング	コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習 強化、姿勢、体の使い方、ブロッキング計測15分
3	ワインディング	ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測15分～13分、センター導入 上巻き導入、姿勢・体の使い方・目線・立ち位置
4	ワインディング	ブロッキング構成、計測13分～10分、センター導入、上巻き復習・下巻き導入
5	ワインディング	ブロッキング構成、計測10分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化
6	ワインディング　まとめ	ブロッキングまとめを実施する 計測10分、コームで取るブロッキング（12ブロック）導入 計測15～13分、センター強化、（センター15分）計測1本60秒、フロント導入、構成
7	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測10分、センター強化、（センター15分）計測1本60秒　フロント復習、強化、、右バックサイド～ネープ導入
8	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測10～8分、センター強化、（計測センター12分～13分）計測1本約50秒、フロント、右バックサイド復習、強化、右サイド導入
9	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測8～6分、（センター計測11分～12分）計測1本約45秒、フロント、両バックサイド～ネープ復習、強化、サイド復習
10	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測6～5分、（センター計測10分～11分）計測1本約40秒、フロント、両バックサイド～ネープ強化、サイド復習
11	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測5～4分、（センター計測10分～11分）計測1本約40秒、フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネップ導入
12	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測4～3分、（センター計測9分～10分）計測1本約35秒　フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネップ復習、サイド導入
13	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測4～3分、（センター計測9分～10分） 計測1本約35秒全頭復習、左サイド復習、強化
14	ワインディング　総まとめ	ワインディング総まとめを実施する　計測ブロッキング（コーム、9ブロック）4～3分 全頭巻き35分
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-B		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅰ-B		
				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	シャンプー教材一式　美容技術理論Ⅰ ヘアアレンジ一式、ヘアアレンジテキスト（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	【シャンプー】シャンプーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーイングの違いを知る。 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術をできるようにする。
到達目標	【シャンプー】シャンプーイングの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける。 【ヘアアレンジ】ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。編み込みやコテの使用等のヘアアレンジができるようになる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。
評価基準	・シャンプー50%（総まとめ25%　まとめ15%　授業態度10%） ・ヘアアレンジ50%(実技テス30%、授業意欲20%)
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	なし
関連科目	美容技術理論Ⅰ、テクニカルヘアメイク
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「シャンプーイング」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。
担当教員	柳 順一　他1名
実務経験	○
実務内容	都内美容室にて9年間程勤務。その他ヘアメイクなども従事する。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【シャンプーイング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法） シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識
2	シャンプーイング	ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法、シャンプープロセスの理解
3	シャンプーイング	シャンプーのプロセスの復習
4	シャンプーイング	プレシャンプー
5	シャンプーイング	シャンプー手順　1シャンプー
6	シャンプーイング	1シャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント
7	シャンプーイング	1シャンプー、トリートメントプロセス
8	シャンプーイング　まとめ	シャンプーイング　まとめを実施する　1シャンプー～トリートメントプロセス 振り返り
9	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント
10	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント
11	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント・ヘッドスパ（プロセス）
12	シャンプーイング　総まとめ	シャンプーイング　総まとめを実施する　2シャンプー、スキャルプトリートメント 振り返り
13	シャンプーイング	ヘッドスパ（リラクゼーションマッサージ）
14	シャンプーイング	ヘッドスパ（リラクゼーションマッサージ）
15	総合授業	シャンプー技術振り返り

各回の展開【ヘアアレンジ】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション、道具の使い方、 頭部のポイント、コーム・ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 基礎知識、頭部名称
2	ブロッキング、ゴム結い（一束結い）、ピニング	ブロッキング、ポニーテール導入
3	三つ編み・編み込み	ポニーテール反復練習 三つ編み・編み込み導入＆練習
4	片編み込み・フィッシュボーン	片編み込み・フィッシュボーン導入＆練習
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ヘアアイロン	アイロン導入
8	ヘアアイロン	アイロン反復練習
9	ホットカーラー	ホットカーラー導入
10	ホットカーラー	ホットカーラー反復練習
11	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー反復練習・逆毛導入
12	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー、ピニング、逆毛反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト	実技テスト
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-C		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅰ-C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	カッティング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　VR メイク道具一式・メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成　基礎知識を習得する。 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。		
到達目標	【国家試験カット】国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。 【トレンドメイク】ショーメイク、スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる。)		
評価基準	美容実習50%（総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5%） トレンドメイク50%(実技テスト30%、授業意欲20%)		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	【国家試験カット】美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-D・美容実習Ⅰ-E 【トレンドメイク〕カラー＆ファッション、ベーシック・パーソナルメイク・テクニカルヘアメイク		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	柳 順一　他1名	実務経験	○
実務内容	都内美容室にて9年間程勤務。その他ヘアメイクなども従事する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）机上セッティング 道具の扱い方、シザー持ち方開閉、コームワーク、立ち位置、姿勢　ワンレングスブロッキング　ワンレングスカットを実施
2	国家試験カット	道具の扱い方、姿勢、立ち位置、ブロッキング、スライスの取り方、シザーの開閉、シェーピング仕方、止め方 ワンレングスカット、レイヤーカットを実施 国家試験ブロッキング導入
3	国家試験カット	基本動作（姿勢・コームの使い方・留め方）の確認・復習 国家試験ブロッキング復習
4	国家試験カット	基本動作の確認・復習（姿勢・コムの使い方・留め方・シザーの開閉） 国家試験ブロッキング復習（計測：10分～8分）・ヘムライン導入
5	国家試験カット	基本動作の確認・復習 国家試験ブロッキング復習（計測：8分）・ヘムライン復習
6	国家試験カット　まとめ	まとめの実施　国家試験ブロッキング（計測：8分） ヘムライン復習 第3ブロック導入
7	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン、第3ブロック復習 第2ブロック導入
8	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン・第3ブロック・第2ブロック復習 第1ブロック導入
9	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン・第3ブロック・第2ブロック・第1ブロック復習 バックカット修正導入
10	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：25分）
11	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：23分）
12	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：21分）
13	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：20分）
14	国家試験カット　総まとめ	総まとめを実施する バックまでのカット（修正込み計測：20分）
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【トレンドメイク】		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	メイクの歴史①	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
3	メイクの歴史②	年代別　20、30、40
4	年代別のメイク①	年代別　50
5	年代別のメイク②	年代別　60
6	年代別のメイク③	年代別　70、80
7	年代別のメイク④	年代別　90、2000
8	年代別のメイク⑤	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	スチールメイク①	スチールメイク(トレンド)制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク②	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク③	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
12	スチールメイク④	スチールメイク(トレンド)制作(テスト) テーマに合わせて行う
13	スチールメイク⑤	テーマに合わせた作品制作
14	スチールメイク⑥	テーマに合わせた作品制作
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-D		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅰ-D		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式　カッティング教材一式　衛生教材一式 改正美容師技術試験課題　衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル　　VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する。 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する。		
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	オールウェーブ：総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-E		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「オールウェーブセッティング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	室脇 まな美　他1名	実務経験	○
実務内容	広島の美容室にて15年間美容師として勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【オールウェーブセッティング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認（教材の名称、扱い方、管理方法）、ウイッグ事前仕込み（カット）
2	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）
3	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）　ローション塗布・ウェーブの基本導入
4	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）机上セッティング、道具確認 7段構成の展開図及び構成完成図の手順確認・ウェーブ基本・リッジ
5	オールウェーブセッティング	ウェーブ・リッジ復習 1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）
6	オールウェーブセッティング	1段目復習 2段目ウェーブ、リッジ導入
7	オールウェーブセッティング	1段目・2段目復習 3段目導入（ウェーブ、リッジ、スカルプチュアカール）
8	オールウェーブセッティング	1段目～3段目　各段強化
9	オールウェーブセッティング	1段目～3段目　復習・強化　（計測：20分）
10	オールウェーブセッティング	1段目～3段目　復習・強化　（計測：20分）
11	オールウェーブセッティング まとめ	まとめを実施する　1段目～3段目（計測20分） 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き導入
12	オールウェーブセッティング	1～3段目構成、計測18分～15分 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き復習、強化
13	オールウェーブセッティング	1～3段目構成、計測15分 右側、左側ウェーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各6分～5分
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	総まとめを実施する 1～3段目、右側・左側ウェーブ、リッジ、くり抜き計測27分
15	総合授業	後期振り返り

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）、机上セッティング 前期再確認、シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、カッティング手順再確認 国家試験衛生　これまでの復習（バックチェックカット込み：計測20分）
2	国家試験カット	バック復習、フェイスライン、フロント導入
3	国家試験カット	バック、フェイスライン、フロント復習 サイド、チェックカット導入 カッティング手順再確認 （計測：40分）
4	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 （計測40分～35分）
5	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 （計測35分）
6	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 （計測35分）
7	国家試験カット　まとめ	まとめを実施する （計測：35分）
8	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 （計測35～30分）
9	国家試験カット	国家試験カット手順確認・復習・強化 （計測35～30分）
10	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 （カッティングのみ計測：25分　チェックカット込み30分）
11	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 （カッティングのみ計測：25分　チェックカット込み30分）
12	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 （カッティングのみ計測：25分　チェックカット込み30分）
13	国家試験カット　総まとめ	カッティング総まとめを実施する （チェックカット込み計測：30分）
14	国家試験カット	カッティング手順再確認・復習・計測 （カッティングのみ計測：22分　チェックカット込み28分）
15	総合授業	後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-E		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅰ-E		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式　衛生教材一式　改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説三幸学園オリジナル実技マニュアル　VR メイク道具一式　メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ国家試験レベルの技術を習得する。 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。
到達目標	【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。 【トレンドメイク】ショーメイク・スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる。)
評価基準	ワインディング：総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5% トレンドメイク：50%(実技テスト20%、提出物15%　授業意欲15%
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	【ワインディング】美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-A・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-D 【トレンドメイク】カラー＆ファッション、ベーシック・パーソナルメイク、テクニカルヘアメイク
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。
担当教員	室脇 まな美　他1名
実務経験	○
実務内容	広島の美容室にて15年間美容師として勤務。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、教材確認（扱い方、管理方法） 前期復習　計測35分～32分
2	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測32分～30分　全頭の構成の強化
3	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測30分～28分　全頭の構成の強化
4	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分～26分　全頭の構成の強化
5	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分～26分　全頭の構成の強化
6	ワインディング　まとめ	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分　まとめを実施する ブロッキング込み全頭 （計測27分） 全頭の構成の強化
7	ワインディング	ブロッキング込み全頭 （計測26分） 全頭の構成の強化
8	ワインディング	ブロッキング込み全頭 （計測25分） 全頭の構成の強化
9	ワインディング	ブロッキング込み全頭 （計測24分） 全体構成の強化
10	ワインディング	ブロッキング込み全頭 （計測23分） 全体構成の強化
11	ワインディング	ブロッキング込み全頭 （計測22分） 全体構成の強化
12	ワインディング	ブロッキング込み　全頭 （計測：22分）
13	ワインディング　総まとめ	総まとめを実施する （全頭計測：22分）
14	ワインディング	ブロッキング込み全頭 （計測21分）
15	総合授業	後期振り返り

各回の展開【トレンドメイク】		
回数	単元	内容
1	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
2	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
3	ムービーメイク①	ムービーで行うメイク
4	ムービーメイク②	ムービーで行うメイク
5	コンテストメイク①	テーマに合わせたメイクを行う
6	コンテストメイク②	テーマに合わせたメイクを行う
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチールメイク①	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
10	スチールメイク②	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
11	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
12	テスト	作品作りに合わせて、実技テストを行う
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	美容実習Ⅰ-F		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅰ-F		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。		
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。		
評価基準	企業側評価60%　学校側評価40%(ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)		
認定条件	・出席が48単位時間以上(実質時間数40時間以上)の者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小林 裕介	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習
7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー		
必修選択	選択	（学則表記）	ビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト3級 サービス接遇検定実問題集3級 就職ハンドブック		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。		
到達目標	サービス接遇検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。		
評価基準	【前期評価】テスト50%、課題・提出物20%　授業態度等30% 【後期評価】テスト30%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	サービス接遇検定3級		
関連科目	就職対策		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中嶋 宏見	実務経験	○
実務内容	美容企業でマナーの社員研修、山陽高校でマナー系資格講座の経験有。2016年、2018年サービス接遇検定で団体優秀賞を受賞。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
4	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
5	対人技能（敬語）①	様々な接遇用語・敬語について
6	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
7	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接遇者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

16	検定対策授業	復習と練習問題
17	検定対策授業	復習と練習問題
18	検定対策授業	復習と練習問題
19	検定対策授業	復習と練習問題
20	検定対策授業	復習と練習問題
21	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説
22	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ①	就職活動に向け、筆記対策や履歴書について
23	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句
24	社交文書 ②	就職活動における社交文書について
25	社交文書 ③	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について
26	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
27	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
28	実技演習①「面接練習」 実技演習②「電話応対」 実技演習③「お茶出し」	面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング
29		電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	カラー＆ファッション		
必修選択	選択	（学則表記）	カラー＆ファッション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識を学ぶ。
到達目標	様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりとした理由付けができる。
評価基準	テスト50%、提出物30%　授業態度等20%
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定(任意)
関連科目	美容実習Ⅰ-C
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	谷田 彩	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ファッションとメイクの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて(シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース･メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等の総まとめ
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌･SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	ファッションデザイナー②	雑誌･SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
13	ファッションデザイナー③	ファッションスタイリングシート作成
14	ファッションデザイナー④	ファッションスタイリングシート作成
15	総合授業	まとめを行う

16	パーソナルカラー	色の面白さやイメージを知る
17	色の連想	色彩心理前に自分の感じる色を考えてみる
18	色の連想色の特徴①	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
19	色の特徴②	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
20	色の心理的効果 慣用色名	心理的効果について 色を表す言葉について
21	配色①	色相、トーンについて
22	配色②	配色の応用、イメージ配色
23	色と光について	色の見える仕組み 視覚のメカニズム
24	対比と同化	対比と同化について
25	混色	混色の原理について
26	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う
27	パーソナルカラーの基礎②	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う
28	パーソナルカラーのアドバイス①	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて
29	パーソナルカラーのアドバイス②	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム		
必修選択	選択	（学則表記）	未来デザインプログラム		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック（WEBアプリ）		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。		
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。		
評価基準	テスト：20%　授業態度：40%　提出物：40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	金永 真利那	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ SANKOワークコンピテンスの理解を深める
2	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
3	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
4	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
5	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
6	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
7	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
8	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
9	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

16	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
17	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
18	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
19	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを学ぶ
20	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
21	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
22	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
23	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
24	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
25	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
26	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
27	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
28	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
29	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
30	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシック・パーソナルメイク		
必修選択	選択	（学則表記）	ベーシック・パーソナルメイク		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクができるようになる。		
評価基準	テスト50%、提出物30%　授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック（後期）		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	原辺 綾子	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認（名称、使い方、管理（セッティング）方法）
2	スキンケア	スキンケア（手順）、反復練習
3	スキンケア／ベースメイク	スキンケア復習、 ベースメイク（手順）
4	スキンケア／ベースメイク	スキンケアテスト10分 ファンデーション（手順の復習、質感・多色塗）
5	ベースメイク	ベースメイク（手順の復習とタイムアップ）、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク／ポイントメイク	ベースメイク（手順の復習とタイムアップ） ポイントメイク（アイシャドウ）
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク（アイメイク、アイブロウ）
9	ポイントメイク	ポイントメイク（アイメイク、アイブロウ）
10	ポイントメイク	ポイントメイク（リップ、チーク、ハイ＆ローライト）
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク（ソフト）
14	シャープ	フルメイク（シャープ）
15	総合授業	まとめを行う

16	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
23	苦手克服	フルメイク(苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定筆記対策を行う) アドヴァンス検定(任意受験)対策
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
25	錯覚	錯覚について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
26	色、質感	色、質感について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
27	色、質感	色、質感について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト アドヴァンス検定(任意受験)対策
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り アドヴァンス検定(任意受験)対策
30	総合授業	まとめを行う アドヴァンス検定(任意受験)対策

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	テクニカルヘアメイク		
必修選択	選択	（学則表記）	テクニカルヘアメイク		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	メイク道具一式・ヘアアレンジテキスト（デジタルテキスト）		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	【テクニカルヘアメイク】頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術をできるようにする。 【SNS・WEB・フォトスキル】美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。
到達目標	【テクニカルヘアメイク】ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。編み込みやコテの使用等のヘアアレンジができるようになる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。 【SNS・WEB・フォトスキル】顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINE@などのSNSやWEBを通じて発信できるようになる。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする。
評価基準	【テクニカルヘアメイク】テスト50%、提出物30%　授業意欲20% 【SNS・WEB・フォトスキル】テスト40%、提出物30%　授業態度等30%
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者
関連資格	なし
関連科目	カラー＆ファッション、美容実習Ⅰ-B、美容実習Ⅰ-E、スチール撮影知識Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。
担当教員	児玉 美保 他1名	実務経験	○
実務内容	2004年～2008年サロンワークを主として美容室に勤務。 2008年～現在　結婚式場にて新郎新婦のブライダルヘアメイクや、成人式等のイベントでヘアメイク着付けを担当。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期オリエンテーション シニヨン・土台作り／夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き導入
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台（導入・練習） 逆毛・すき毛（導入・練習）
3	夜会巻①	夜会巻（導入・練習）
4	夜会巻②	夜会巻（練習）
5	夜会巻③	本夜会（導入・練習）
6	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会（テスト・振り返り）
7	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り（導入・練習） 展開図作成
8	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り（練習） 展開図作成
9	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り（導入・練習） 展開図作成
10	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り（練習） 展開図作成
11	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り（導入・練習） 展開図作成
12	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り（練習） 展開図作成
13	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り（導入・練習） 展開図作成
14	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り（練習） 展開図作成
15	総合授業	まとめを行う

各回の展開【SNS・WEB・フォトスキル】		
回数	単元	内容
1	WEBマーケティングとSNS	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ペルソナの設定などの基礎知識の講義
2	Instagramマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
3	Twitterマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	公式LINEアカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	Youtubeマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	Facebook/Tiktokなどの各種SNSについて	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
7	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、10回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12	ランディングページ(LP)を作ってみよう	SNSで人気のあるLPの紹介と簡易LP構築ツールを使用したLPの作成
13	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	スチール撮影知識Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	スチール撮影知識Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	カメラ機材 筆記用具		出版社	なし	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける。		
到達目標	色・光・影の出方によるメイク映えを知る。 撮影中の注意事項を理解する。		
評価基準	テスト50%、提出物30%　授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	カラー＆ファッション、美容実習Ⅰ-B、美容実習Ⅰ-E、テクニカルヘアメイク		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	粟根 靖雄	実務経験	○
実務内容	2000年にフリーランスのカメラマンとして活動を開始し、2009年に広島に移転、東京と広島の二拠点で活動。 広告、雑誌、CDジャケット、アーティストのポートレートなど幅広く活躍中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【スチール撮影実習Ⅰ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザイン		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。		
到達目標	自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。		
評価基準	授業態度：30%　レポート・課題など（提出物）：70%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	就職対策Ⅰ・Ⅱ　／　キャリアデザイン		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小林 裕介 他2名	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	キャリアデザインの授業とは
2	外部講師による講話	講話を聞き、美容業界への理解を深める
3	外部講師による講話	講話を聞き、美容業界への理解を深める
4	外部講師による講話	講話を聞き、美容業界への理解を深める
5	外部講師による講話	講話を聞き、美容業界への理解を深める
6	外部講師による講話	講話を聞き、美容業界への理解を深める
7	外部講師による講話	講話を聞き、美容業界への理解を深める
8	企業研究	就職活動・学外実習に向けて企業研究を行う
9	企業研究	就職活動・学外実習に向けて企業研究を行う
10	企業研究	就職活動・学外実習に向けて企業研究を行う
11	HR	行事に向けて
12	HR	行事に向けて
13	就職ガイダンス	就職ガイダンス参加
14	就職ガイダンス	就職ガイダンス参加
15	就職ガイダンス	就職ガイダンス参加

16	前期振り返り 後期オリエンテーション	前期の振り返り 後期実施内容について
17	現場実習に向けて	実習規定について
18	現場実習に向けて	実習までのスケジュール
19	現場実習に向けて	学外実習の目標
20	現場実習に向けて	身だしなみについて
21	現場実習に向けて	身上調査書
22	現場実習に向けて	身上調査書下書き提出
23	現場実習に向けて	身上調査書清書
24	現場実習に向けて	身上調査書清書提出
25	現場実習に向けて	電話掛けについて
26	現場実習に向けて	実習訪問について
27	現場実習に向けて	実習手帳について
28	現場実習に向けて	お礼状の書き方
29	現場実習に向けて	実習振り返り
30	現場実習に向けて	就職活動に向けて

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	様々な職種を理解することにより、自分が目指す職種を決定し、就職活動を行えるようにする。		
到達目標	・各職種を理解している。 ・履歴書を作成することができる。 ・就職試験を受けることができる。		
評価基準	テスト20%　提出物50%　授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小林 裕介 他2名	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに	クラス目標の設定 年間スケジュールの確認
2	社会人0年目として	学生と社会人の違い
3	企業講和	美容業界の魅力（美容師？）
4	敬語の使い方	敬語の基礎を勉強する
5	求人票の見方	求人票の見方
6	企業研究	企業研究
7	テスト	学生と社会人の違い・求人票・敬語のテスト
8	ガイダンス参加に向けて	身だしなみ・聞く姿勢など
9	履歴書作成	自己分析
10	履歴書作成	履歴書を実際に書いてみよう
11	履歴書作成	自己PR作成
12	面接練習	面接の受け方について
13	面接練習	面接練習
14	テスト	面接練習テスト
15	企業研究	希望の就職・実習先の企業研究を行う

16	就職について	就職までのスケジュールを確認する
17	自己分析	就職活動に向けてどんな準備が必要か確認する
18	自己分析、自己PR作成	企業の種類や自己分析　今からできること
19	企業研究	自己PRの文章練習
20	ポートフォリオ作成について	サロンの特長強みを調べる　ポートフォリオ準備
21	ポートフォリオ作成	ポートフォリオの作り方について　作成開始
22	企業様講話	美容業界の魅力（ヘアメイク）
23	自己分析・企業研究	自己分析から考える企業研究　履歴書作成について
24	就職決起会	決起会について
25	履歴書作成	氏名、学歴、作成
26	履歴書作成	志望動機、自己PR
27	履歴書作成	清書提出
28	面接対策	敬語の練習話し方　求められる人材を知ろう
29	実習について共有	クラスメイトと実習での内容共有
30	サロン訪問について	身だしなみについて考えるサロンに合わせて